

土屋
衆議院議員
品子



ヌーベル13区

ありのままのことばで語る政治

2008
Vol. 1

2008年(平成20年)5月10日 第42号

編集: 土屋品子後援会編集部

発行: 土屋品子後援会

〒344-0062 春日部市粕壁東1-8-15

TEL 048-761-0475 FAX 048-763-3475

土屋品子ホームページ OWLS NETWORK

<http://www.owls.co.jp>



今年の田植えに向けて苗床作り

子育て支援の充実に向けて

近年大幅に増加する高齢者と生産年齢人口の減少。このような変化に伴い、私達の経済社会に大きな変化をもたらすことが予想されています。また若者や女性、高齢者の労働市場参加が進まない場合、労働人口の減少は総人口の増加を上回る速度で減少する見通しとなっています。

国民の希望する結婚後の雇用環境の整備や子育て支援の環境を整えなくては、ますます将来の社会経済に大きな影響を及ぼすこととなるでしょう。そこで、そのようなことを緩和するために、「若者、女性、高齢者等の労働市場参加」の実現すること、「国民の希望する結婚や出産・子育て」をできる限り早く実現させることが不可欠と考えています。

具体的な現状としては、女性

の場合、妊娠・出産を機に離職せざるをえず、就労と出産・子育ての二者択一の状況となっています。このような状況を抜本的に変えない限り、労働人口の増加は期待できず、また少子高齢化社会の解決はできないでしょう。それでは、女性をはじめ働く意欲のある人々への労働市場参加を実現しつつ、皆さんの希望する結婚・出産・子育てを可能にするためにはどうしたらいいのでしょうか。

そこで新たな取り組みとして、働き方の見直しによる仕事と生活の調和の実現、いわゆる、ワークライフバランスの再考があります。国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに様々な年代や働き方に対応できる社会を目指すことが必要です。

全国どこでも国民の希望する結婚や出産・子育ての実現を支える社会的な基盤を整備することが使命だと考えております。

現在、国が進める政策として私が注目しているものの中に「家庭的保育事業」があります。この政策は、保育士又は看護師の資格を持つ人が保育所と連携しながら自宅等で主に3歳未満児の保育をするというものです。平成12年度にスタートしたのですが、保育者への支援体制や人手の不足、保障体制に課題があり、まだまだ普及していないのが現実です。そこで、今年から大幅に予算額の増加や家庭的保育者への処遇

の向上を見直しました。

女性の労働市場の参加や働き方の見直し、国民の希望する結婚や出産・子育ての実現は、現在抱える問題への「未来の投資」と考えております。今回とりあげた問題のみならず、多くの課題が山積しておりますが、今後も皆さんのために理想とする社会を実現できるよう頑張ります。



昨年は稲刈りにも挑戦



白岡町味彩センターを視察、コロッケおばちゃん

食環境の信頼回復にむけて

このところ私たちが毎日手にすることが出来る身近な食品の中で、製造日や生産地の偽装、また、食中毒といった衝撃的なニュースが続き、大きな問題となりました。食糧自給率が40%を切ってしまう私達が食事をしていくには輸入食材に頼らざるを得ない現状で、皆さんは食品に対して以前よりも安心感が

持てなくなっているのではないのでしょうか。日本は世界有数の食の安全を誇っている国であるにもかかわらず、そのような不安が出てきてしまっている事は残念でなりません。国民の皆さんの不安感を払拭させるために、国や自治体では様々な取り組みが行われています。しかし、現代の食生活は単純に材料を買っ

てきて調理するといったものだけではなく、加工食品が普及し、お惣菜や調理済みの食材も多く利用されていて、食品を口にするまでの経路や経緯が多様化しています。そのため、食品の安全性を確保するという事は、複雑で難しいものとなっています。

そのような食環境において、

問題解決の具体的な施策として、農林水産省、厚生労働省、また内閣府に設置された食品安全委員会では、農薬対策の制度を作ったり、トレーサビリティ（食品が出来上がるまでの過程を追跡調査することが出来るような管理方法）を作ったり、食品の原料や原産地の表示を推進したりしています。例えば、未だ問題となっている食中毒の原因となったメタミドホスを含むほぼ全ての農薬等に対して、残留基準が暫定的に設定され、順次、基準の見直しを行っています。またBSE（牛海綿状脳症）対策として、検査対象となる牛の月齢の見直しや全頭検査の実態などに対し科学的な情報を提供し、リスク回避に努めています。食に対する安全確保のため、一件ずつ慎重かつ丁寧に、そして確実に対策が練られてきているのです。

「安心して美味しい食事出来る」という当たり前とも言える食環境がしっかりと守られるよう、私はこれからも様々な活動に取り組んで行きたいと思っておりますので、引き続き皆様のご支援をお願い致します。

東武動物公園に新しいローラーコースターが誕生!

3月2日、東武動物公園に新しく登場した「新滑空コースターカワセミ」のオープンセレモニーに出席して参りました。

1981年に開業して以来今年で27年目を迎えました。緑豊かで水辺の多い園内は東側には遊園地、西側には動物園があり、その他「東武スーパープール」

や会員制乗馬クラブなどの施設を併設する複合レジャー施設です。鳥獣保護区にもなっており自然が多いこの施設は、環境面でも地元に対する貢献は大きく、また地域の憩い場となっています。

こちらの施設には、新しく誕生した「カワセミ」以外にも水

上木製コースター「レジーナ」、ループコースター「クレージーマウス」、ファミリーコースター「てんとう虫」があります。「カワセミ」は、かわせみの飛行軌跡そのものを体験できるのが特徴です。風をきり水上を舞い踊る滑空を体感できます。新たな一歩を踏み出したい時

やりフレッシュしたい時にかわせみのような飛行を楽しんでみてはいかがでしょうか



「新滑空コースター カワセミ」のオープンセレモニーに出席

PROFILE



1952年生まれ。粕壁小、浦和岸中、共立女子高を経て、聖心女子大学文学部歴史社会学科卒業。栄養士、短大・大学客員教授。1996年10月の総選挙で埼玉13区より初当選。衆議院議員。現在4期目。厚生委員、法務委員、決算行政監視委員、青少年問題に関する特別委員会理事、衆議院憲法調査会、外務省大臣政務官、党国土交通専任部会長、党外交部会長、党政調副会長、外務委理事、内閣委委員、環境副大臣を歴任。現在、党首都圏整備特別委員長、災害対策特別委員会理事、環境委員、日本エジプト友好協会理事、国会議員フットサルクラブ会長、対人地雷全面禁止推進議連副会長、日本アイスランド友好議連事務局長、日本カナダ友好議連事務局長。

INFORMATION

さわやかボランティアを募集しています。

「土屋品子」とともに新しい時代のさわやかな政治を実現しましょう。土屋品子後援会ではあなたの参加をお待ちしています。

「さわやかキャンペーン」ミニ集會に土屋品子をお呼びください。

各地区でミニ集會を開催中です。どうぞ友人や仲間と一緒にご参加ください。また、ミニ集會に土屋品子をお呼びください。

国会の中に入ったことがありますか？

国会見学にお越し下さい。土屋品子の職場であり、国の法律が決まる場である国会に見学に来て下さい。友人・知人と一緒に、何人でも結構です。



ご意見をお聞かせください。

OWLS NETWORK : <http://www.owls.co.jp/>
E-mail : otaylor@owls.co.jp